

令和 7 年度

水道事業会計決算説明資料

1. 決算の概要

(1) 収益的収支（税込み）

はじめに、収益的収益（水道事業収益）の、主な内訳について説明します。収益の柱である水道料金（給水収益）は、調定水量が減少したことから、前年度比 14,010,014 円減の 436,744,712 円、また給水装置工事や水道使用に伴う開閉栓に係る手数料など（その他営業収益）については新規の水道使用者が減少したため、前年度比 210,500 円減の 1,312,000 円となり、営業収益としては令和 6 年度決算と比較して 14,220,514 円減の 438,056,712 円となりました。

営業外収益については、前述した新規の水道使用者が減少したことに加えて、「酒々井の水」の売上が減少したことから、前年度比 10,516,907 円減の 63,429,879 円となりました。

以上、水道事業収益全体としては、前年度比 24,737,421 円減の 501,486,591 円となりました。

【収入比較表】

（税込み・円）

項 目	令和 6 年度	令和 7 年度	増 減	増減率 (%)
水道事業収益	526,224,012	501,486,591	▲ 24,737,421	▲ 4.7
営業収益	452,277,226	438,056,712	▲ 14,220,514	▲ 3.1
給水収益	450,754,726	436,744,712	▲ 14,010,014	▲ 3.1
その他営業収益	1,522,500	1,312,000	▲ 210,500	▲ 13.8
営業外収益	73,946,786	63,429,879	▲ 10,516,907	▲ 14.2
加入負担金	29,408,500	18,511,900	▲ 10,896,600	▲ 37.1
受取利息	155,366	164,772	9,406	6.1
長期前受金戻入	42,134,600	43,595,247	1,460,647	3.5
雑収益	2,248,320	1,157,960	▲ 1,090,360	▲ 48.5

次に収益的支出（水道事業費用）について、営業費用は前年度と比較して 13,198,936 円増の 464,431,518 円となりました。増額の主な要因としては、配水施設に係る委託や修繕料などの配水及び給水費が、配水ポンプ盤点検整備等により 18,492,534 円増となったこと等が挙げられます。なお、修繕料の増加により総係費は 5,851,876 円増の 126,140,349 円、配水管布設替工事がなかったことに伴う取得資産が減少し減価償却費は 14,512,254 円減の 193,711,304 円となっております。

営業外費用については、設備の整備により新たに企業債の借入を行ったことに伴い償還利息が増加したことから、前年度と比較して 1,417,134 円増の 17,538,171 円となりました。

以上、水道事業費用全体としては、前年度比 14,616,070 円増の 481,969,689 円となりました。

【支出比較表】

(税込み・円)

項 目	令和 6 年度	令和 7 年度	増 減	増減率 (%)
水道事業費用	467,353,619	481,969,689	14,616,070	3.1
営業費用	451,232,582	464,431,518	13,198,936	2.9
原水及び浄水費	89,968,331	92,315,265	2,346,934	2.6
配水及び給水費	31,006,261	49,498,795	18,492,534	59.6
総係費	120,288,473	126,140,349	5,851,876	4.9
減価償却費	208,223,558	193,711,304	▲ 14,512,254	▲ 7.0
資産減耗費	1,745,959	2,765,805	1,019,846	58.4
営業外費用	16,121,037	17,538,171	1,417,134	8.8
支払利息	6,319,437	8,674,371	2,354,934	37.3
支払消費税	9,801,600	8,863,800	▲ 937,800	▲ 9.6
予備費	0	0	0	0

以上の収支から、令和 7 年度の損益（税抜き）は 7,507,722 円の純利益となりましたが、
 今後は収入の減少傾向が続くことが想定されることから厳しい経営状況となることが見込まれていきます。

【損益比較表】

(税抜き・円)

項目	令和 6 年度	令和 7 年度	増 減	増減率 (%)
営業収益	411,311,059	398,363,379	▲ 12,947,680	▲ 3.1
営業外収益	71,113,035	61,658,955	▲ 9,454,080	▲ 13.3
収益合計	482,424,094	460,022,334	▲ 22,401,760	▲ 4.6
営業費用	432,847,352	443,840,241	10,992,889	2.5
営業外費用	6,319,437	8,674,371	2,354,934	37.3
費用合計	439,166,789	452,514,612	13,347,823	3.0
純利益（収支差引）	43,257,305	7,507,722	▲ 35,749,583	▲ 82.6

（２）資本的収支（税込み）

はじめに、資本的収入について、企業債は充当した事業の減に伴い前年度と比較して 52,700,000 円減の 117,000,000 円となりました。分担金及び負担金については、新規の水道使用者の減、東酒々井地先舗装本復旧工事に伴う工事負担金の減により前年度比 8,351,530 円減の 12,926,870 円となりました。また、下水道事業に貸し付けていた 26,000,000 円の返還がありました。

以上から資本的収入全体としては、前年度比 35,051,530 円減の 155,926,870 円となりました。

【収入比較表】

（税込み・円）

項目	令和 6 年度	令和 7 年度	増 減	増減率 (%)
資本的収入	190,978,400	155,926,870	▲ 35,051,530	▲ 18.4
企業債	169,700,000	117,000,000	▲ 52,700,000	▲ 31.1
分担金及び負担金	21,278,400	12,926,870	▲ 8,351,530	▲ 39.2
分担金	12,566,400	6,956,400	▲ 5,610,000	▲ 44.6
工事負担金	8,712,000	5,970,470	▲ 2,741,530	▲ 31.5
他会計返還金	0	26,000,000	26,000,000	-

次に資本的支出について、建設改良費は前年度比 47,674,591 円減の 160,468,893 円となりました。内訳としましては、固定資産購入費が庁用車の購入に伴い前年度比 2,531,601 円増の 5,618,981 円、拡張工事費は、工事請負費の減により、前年度比 50,206,192 円減の 154,849,912 円となりました。

企業債償還金については、建設改良費に充当するために借入れた企業債の償還金のうち、償還猶予が終了した償還額の増に伴い、前年度比 5,380,028 円増の 22,083,067 円となりました。

以上から資本的支出全体としては、前年度比 42,294,563 円減の 182,551,960 円となりました。

【支出比較表】

（税込み・円）

項目	令和 6 年度	令和 7 年度	増 減	増減率 (%)
資本的支出	224,846,523	182,551,960	▲ 42,294,563	▲ 18.8
建設改良費	208,143,484	160,468,893	▲ 47,674,591	▲ 22.9
固定資産購入費	3,087,380	5,618,981	2,531,601	82.0
拡張工事費	205,056,104	154,849,912	▲ 50,206,192	▲ 24.5
企業債償還金	16,703,039	22,083,067	5,380,028	32.2
予備費	0	0	0	0.0

以上から資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は 26,625,090 円となり、これは当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 11,627,478 円及び減債負担金 14,997,612 円で補てんします。

当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額：

消費税及び地方消費税には、収入の際に消費税として受け取る「仮受消費税」と、支出の際に消費税として支払う「仮払消費税」があります。町が最終的に国へ申告・納付する税額は、この「仮受消費税」から「仮払消費税」を差し引いたものになります。もし、「仮払消費税」が「仮受消費税」よりも大きかった場合、その分は還付を受けることになります。

資本的収支では、支出として「仮払消費税」を支払っている一方、収入ではその性質上仮受消費税を受け取る額がほとんどありません。そのため、その還付額に相当する額を補てん財源として充当します。

減債積立金：

企業債の償還に要する資金に充てるため、議会の議決を経て積み立てます。

2. キャッシュ・フロー計算書

令和7年度決算に係るキャッシュ・フローについて、まず業務活動によるキャッシュ・フロー（収益的収支のキャッシュ・フロー）は162,148,399円の黒字となりました。次に投資活動によるキャッシュ・フロー（資本的収支のうち企業債の収支（借入・償還）に係るものを除いたもの）は135,914,545円の赤字となりました。最後に財務活動によるキャッシュ・フロー（企業債の収支に係るもの）は120,916,933円の黒字となりました。

以上、合計すると令和7年度決算全体のキャッシュ・フローは147,150,787円の黒字（現金増）となっています。

この結果、令和7年度末における水道事業会計の資金残高は1,080,824,595円となっています。

【令和7年度キャッシュ・フロー】

（円）

・ 業務活動によるキャッシュ・フロー	162,148,399
・ 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 135,914,545
・ 財務活動によるキャッシュ・フロー	120,916,933
令和7年度資金増減額	147,150,787
資金期首残高	933,673,808
資金期末残高	1,080,824,595

業務活動キャッシュ・フロー：黒字（収入＞支出）

本来の事業活動によって、しっかりと資金（現金）を生み出し、独立採算制が保たれた状態と捉えます。

投資活動キャッシュ・フロー：赤字（支出＞収入）

インフラの整備や更新に積極的に資金を投資して、業務活動で得た資金で足りない分を内部留保や減価償却費の資金化を活用して将来の設備投資と資産形成に充てられていて健全な状態と捉えます。

財務活動キャッシュ・フロー：黒字（収入＞支出）

新たな借入れが返済を上回っている状態で、町内井戸の非常用発電設備工事など大規模な設備投資が行われた結果によるものとなっています。

分析：事業の維持・更新のために積極的に投資を行い、資金不足は借入れで補てんする形で健全かつ安定した事業運営が行われました。

3. 貸借対照表

令和7年度末の総資産額は、5,723,527,171円で、令和6年度末と比較して71,885,648円増加しました。このうち固定資産は74,763,724円の減少で、これは既存の資産が経年によって減少する減価償却費193,711,304円よりも、新規に整備した額150,091,859円の方が小さいことによるものです。また現金預金等を含む流動資産については現金預金の増加などから、146,649,372円の増加となっています。

次に負債の額については、資産の取得のために借入れた企業債の残高が増加したことから固定負債が73,473,906円の増加となります。また流動負債及び繰延収益も増加していることから、負債総額は前年度比41,840,586円増の2,052,767,320円となります。

最後に資本の額については、未処分利益剰余金（累積黒字）が増加したため、前年度比7,507,722円増の3,670,759,851円となっています。

【令和7年度貸借対照表】

(円)

資産の部		負債の部	
固定資産	4,569,597,405	固定負債	1,067,903,145
有形	4,567,561,294	企業債	1,067,903,145
無形	1,709,050	流動負債	221,734,154
投資その他	327,061	企業債	43,526,094
		未払金	174,658,060
		引当金	3,550,000
		繰延収益	763,130,021
		負債合計	2,052,767,320
流動資産	1,153,929,766	資本の部	
現金預金	1,080,824,595	資本金	2,290,334,045
未収金	71,561,236	自己資本	2,290,334,045
貯蔵品	1,543,935	剰余金	1,380,425,806
		資本剰余	32,178,161
		利益剰余	1,348,247,645
		資本合計	3,670,759,851
資産総計	5,723,527,171	負債・資本総計	5,723,527,171

【貸借対照表比較表】

資産

(円)

項 目	令和 6 年度	令和 7 年度	増 減
固定資産	4,644,361,129	4,569,597,405	▲ 74,763,724
有形固定資産	4,616,293,611	4,567,561,294	▲ 48,732,317
無形固定資産	1,709,050	1,709,050	0
投資その他の資産	26,358,468	327,061	▲ 26,031,407
流動資産	1,007,280,394	1,153,929,766	146,649,372
現金預金	933,673,808	1,080,824,595	147,150,787
未収金	72,062,651	71,561,236	▲ 501,415
貯蔵品	1,543,935	1,543,935	0
資産合計	5,651,641,523	5,723,527,171	71,885,648

負債・資本

項目	令和 6 年度	令和 7 年度	増 減
固定負債	994,429,239	1,067,903,145	73,473,906
企業債	994,429,239	1,067,903,145	73,473,906
流動負債	199,033,727	221,734,154	22,700,427
企業債	22,083,067	43,526,094	21,443,027
未払金	173,970,885	174,658,060	687,175
引当金	2,979,775	3,550,000	570,225
繰延収益	817,463,768	763,130,021	▲ 54,333,747
負債合計	2,010,926,734	2,052,767,320	41,840,586
資本金	2,290,334,045	2,290,334,045	0
自己資本金	2,290,334,045	2,290,334,045	0
剰余金	1,372,918,084	1,380,425,806	7,507,722
資本剰余金	32,178,161	32,178,161	0
利益剰余金	1,340,739,923	1,348,247,645	7,507,722
資本合計	3,663,252,129	3,670,759,851	7,507,722
負債・資本合計	5,674,178,863	5,723,527,171	49,348,308

決算比較表（R 6－R 7）

税抜き（単位：円、％）

	R 6	R 7	増 減 額	増 減 率 (R7-R6)/R6 ×100	備 考
水道事業収益	482,424,094	460,022,334	△ 22,401,760	△ 4.6	
営業収益	411,311,059	398,363,379	△ 12,947,680	△ 3.1	
給水収益	409,788,559	397,051,379	△ 12,737,180	△ 3.1	有収水量（調定水量） 1,902,882㎡（35,176㎡減）
その他営業収益	1,522,500	1,312,000	△ 210,500	△ 13.8	給水装置工事検査手数料、開閉栓手数料、指定工事店指定手数料
営業外収益	71,113,035	61,658,955	△ 9,454,080	△ 13.3	
加入負担金	26,735,000	16,829,000	△ 9,906,000	△ 37.1	新規加入93件（75件減）、増口径改造12件（7件増）
受取利息	155,366	164,772	9,406	6.1	千葉銀行定期預金、下水道事業長期貸付金
長期前受金戻入	42,134,600	43,595,247	1,460,647	3.5	長期前受金のうち減価償却費相当分（非現金収入）
雑収益	2,088,069	1,069,936	△ 1,018,133	△ 48.8	「酒々井の水」売上、販売手数料等
水道事業費用	448,968,389	461,378,412	12,410,023	2.8	
営業費用	432,847,352	443,840,241	10,992,889	2.5	
原水及び浄水費	81,789,763	83,923,338	2,133,575	2.6	
備用品費	281,987	28,000	△ 253,987	△ 90.1	残留塩素計消耗品
委託料	7,153,800	9,052,500	1,898,700	26.5	法定水質検査、自家用電気工作物保安管理
手数料	12,000	12,000	0	0.0	職員細菌検査
使用料及び賃借料	2,736	2,736	0	0.0	2号取水井土地賃借料（114㎡）
修繕料	13,960,000	13,666,000	△ 294,000	△ 2.1	5号取水ポンプ分解整備、1号取水井既設機器撤去
動力費	37,841,190	37,678,103	△ 163,087	△ 0.4	電気料金
薬品費	140,300	356,300	216,000	154.0	残留塩素計用試薬等
受水費	21,797,750	21,797,699	△ 51	△ 0.0	印広水からの受水費（日量400㎡）
工事請負費	600,000	1,330,000	730,000	121.7	2号取水井フェンス修繕工事
配水及び給水費	28,188,947	45,000,339	16,811,392	59.6	
備用品費	689,747	513,129	△ 176,618	△ 25.6	非常用飲料水袋等
委託料	7,992,400	9,618,910	1,626,510	20.4	量水器検満交換業務委託 1,575個（568個増）
使用料及び賃借料	15,800	15,800	0	0.0	J R 土地賃借料（3箇所 計25㎡）
修繕料	19,491,000	34,852,500	15,361,500	78.8	町内給配水管漏水修理、尾上浄水場配水ポンプ盤点検整備（3台）
材料費	0	0	0	0.0	漏水修理材料（購入なし）
総係費	112,899,125	118,439,455	5,540,330	4.9	
給料	20,326,800	21,664,500	1,337,700	6.6	損益勘定職員給料
手当	8,583,580	8,611,884	28,304	0.3	損益勘定職員諸手当
法定福利費	6,780,606	7,481,702	701,096	10.3	損益勘定職員共済費
旅費	85,837	0	△ 85,837	△ 100.0	研修等旅費（県外への参加なし）
報酬	127,000	49,500	△ 77,500	△ 61.0	酒々井町上下水道事業運営審議会委員報酬
備用品費	506,511	492,209	△ 14,302	△ 2.8	事務用品、書籍
光熱水費	114,213	197,386	83,173	72.8	尾上浄水場L Pガス、下水道使用料
印刷製本費	179,700	44,000	△ 135,700	△ 75.5	料金徴収関係印刷物
通信運搬費	1,439,301	1,532,079	92,778	6.4	電話、専用回線、切手
委託料	65,396,808	66,940,595	1,543,787	2.4	尾上浄水場運転管理業務委託 上下水道料金等徴収業務委託 コンビニ収納代行サービス業務委託 マッピングシステム更新業務委託
手数料	12,096	45,768	33,672	278.4	千葉銀行取扱振込手数料、ごみ処理手数料
使用料及び賃借料	3,767,217	4,057,410	290,193	7.7	企業会計システム、コピー機使用料
修繕料	1,484,719	2,797,100	1,312,381	88.4	尾上浄水場施設等
厚生費	58,442	59,795	1,353	2.3	新聞代、NHK受信料
会費負担金	363,114	124,560	△ 238,554	△ 65.7	日本水道協会会費、千葉県公共料金等暴力対策協議会会費
保険料	345,488	384,188	38,700	11.2	水道賠償保険、自動車賠償責任保険、建物災害共済等
公課費	55,700	70,600	14,900	26.8	庁用車自動車重量税
自動車需用費	292,218	336,179	43,961	15.0	庁用車ガソリン代、車検整備料、修繕費
賞与引当金繰入額	2,506,549	2,970,000	463,451	18.5	損益勘定職員翌年度6月支給見込み期末勤勉手当に係る引当金
法定福利費引当金繰入額	473,226	580,000	106,774	22.6	損益勘定職員翌年度6月支給見込み期末勤勉手当に係る共済金引当金
減価償却費	208,223,558	193,711,304	△ 14,512,254	△ 7.0	
有形固定資産	208,192,151	193,679,897	△ 14,512,254	△ 7.0	有形固定資産減価償却費
投資その他資産	31,407	31,407	0	0.0	長期前払消費税償却額
資産減耗費	1,745,959	2,765,805	1,019,846	58.4	除却資産
営業外費用	16,121,037	17,538,171	1,417,134	8.8	
支払利息	6,319,437	8,674,371	2,354,934	37.3	
企業債利息	6,319,437	8,674,371	2,354,934	37.3	企業債償還利息
支払消費税	9,801,600	8,863,800	△ 937,800	△ 9.6	
消費税及び地方消費税	9,801,600	8,863,800	△ 937,800	△ 9.6	支払消費税額
予備費	0	0	0	0.0	

	R 6	R 7	増 減 額	増 減 率 (R7-R6)/R6 ×100	備 考
資本的収入	189,044,000	154,751,700	△ 34,292,300	△ 18.1	
企業債	169,700,000	117,000,000	△ 52,700,000	△ 31.1	
企業債	169,700,000	117,000,000	△ 52,700,000	△ 31.1	東酒々井地先舗装本復旧工事（１１工区分） ５号井非常用発電機基礎工事 取水井非常用発電機設置工事（２、５、９、１０号井） 尾上浄水場２系薬品室空調機器設置工事
分担金及び負担金	19,344,000	11,751,700	△ 7,592,300	△ 39.2	
分担金	11,424,000	6,324,000	△ 5,100,000	△ 44.6	新規加入93件（75件減）
工事負担金	7,920,000	5,427,700	△ 2,492,300	△ 31.5	（まちづくり課）東酒々井５丁目地先舗装本復旧工事の３０％
他会計返還金	0	26,000,000	26,000,000	－	
他会計返還金	0	26,000,000	26,000,000	－	下水道事業への貸付金
補助金	0	0	0	0.0	
国庫補助金	0	0	0	0.0	交付決定後、事業を令和８年度に繰り越し
県費補助金	0	0	0	0.0	事業を令和８年度に繰り越し
資本的支出	205,817,294	169,749,312	△ 36,067,982	△ 17.5	
建設改良費	189,114,255	147,666,245	△ 41,448,010	△ 21.9	
固定資産購入費	3,069,300	5,455,999	2,386,699	77.8	
固定資産購入費	3,069,300	5,455,999	2,386,699	77.8	量水器、庁用車、パソコン
拡張工事費	186,044,955	142,210,246	△ 43,834,709	△ 23.6	
給料	7,667,700	8,005,800	338,100	4.4	資本勘定職員給料
手当	4,838,995	4,836,244	△ 2,751	△ 0.1	資本勘定職員諸手当
法定福利費	3,021,720	3,039,101	17,381	0.6	資本勘定職員共済費
備用品費	108,600	318,895	210,295	193.6	設計用図書、消耗品
委託料	4,352,000	107,760	△ 4,244,240	△ 97.5	「導配水管耐震化実施設計業務委託」は令和８年度に繰り越し
使用料及び賃借料	722,580	766,446	43,866	6.1	積算ＰＣ、千葉県積算データ、大型コピー機、積算資料
工事請負費	165,333,360	125,136,000	△ 40,197,360	△ 24.3	東酒々井地先舗装本復旧工事　15,983,000円 ２、５、９、１０号取水井非常用発電設備設置工事　91,000,000円 尾上浄水場次亜注入設備貯留槽更新工事　12,000,000円 尾上浄水場２系薬品室空調機設置工事　2,750,000円
企業債償還金	16,703,039	22,083,067	5,380,028	32.2	
企業債償還金	16,703,039	22,083,067	5,380,028	32.2	
企業債償還金	16,703,039	22,083,067	5,380,028	32.2	企業債償還元金
予備費	0	0	0	0.0	

主 要 事 業

1. 資本的支出

①東酒々井地先舗装本復旧工事

事業概要：

令和6年度東酒々井地先配水管布設替工事（11工区）に伴う東酒々井5丁目地先の舗装本復旧工事を行った。

事業費：17,581,300 円

資本的支出－建設改良費－拡張工事費－工事請負費

②2、5、9、10号取水井非常用発電設備整備工事

事業概要：

町内に設置されている各取水井に、停電時にも地下水の取水を可能とするため、水源井に非常用電源設備を設置した。

事業費：100,100,000 円

資本的支出－建設改良費－拡張工事費－工事請負費

③尾上浄水場次亜注入設備貯留槽更新工事

事業概要：

令和6年8月に破損した貯留槽の更新を行った。

事業費：13,200,000 円

資本的支出－建設改良費－拡張工事費－工事請負費

④尾上浄水場2系薬品室空調機設置工事

事業概要：

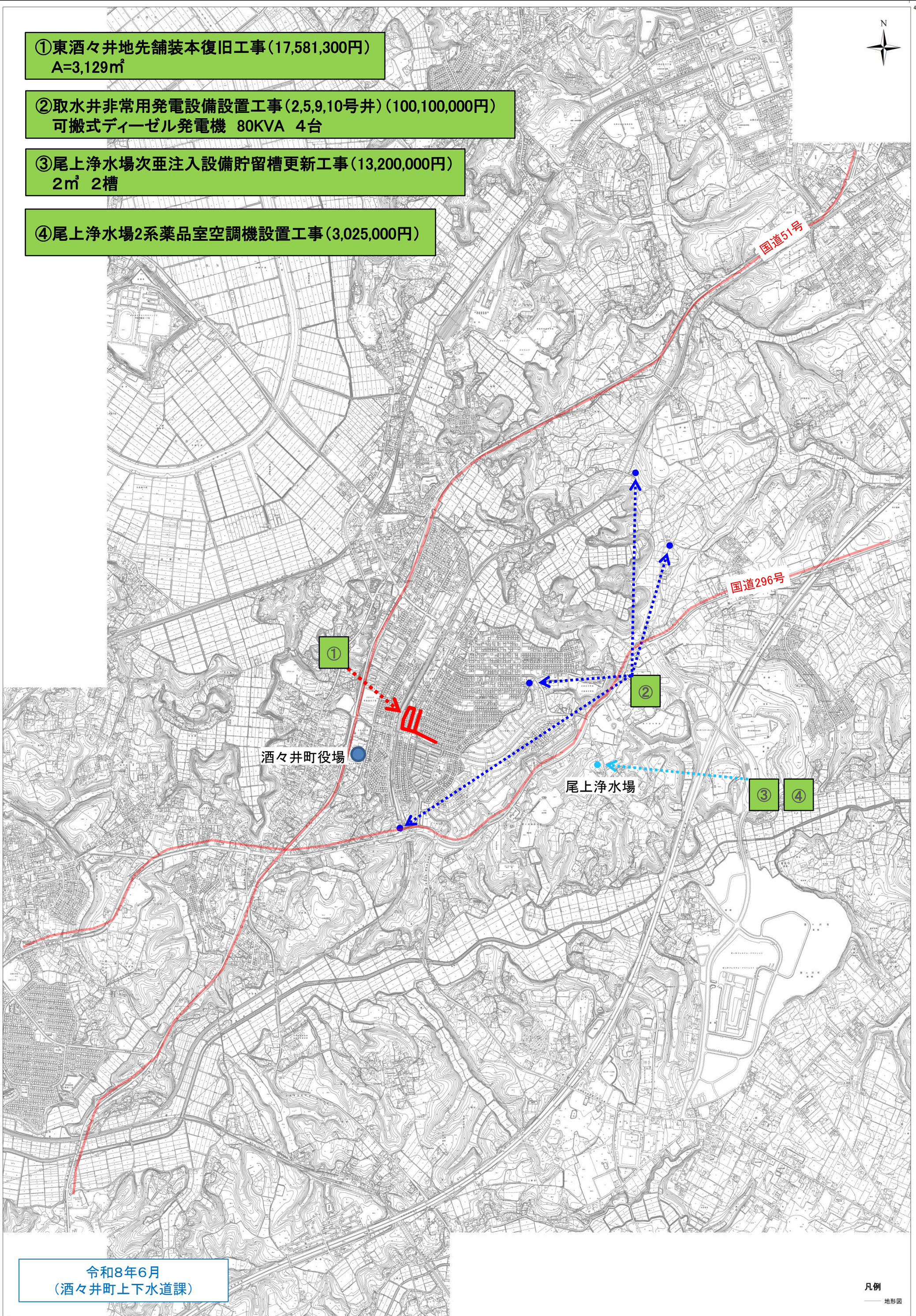
次亜塩素酸ナトリウムの品質保持のため、薬品室に空調機を設置した。

事業費：3,025,000 円

資本的支出－建設改良費－拡張工事費－工事請負費

令和7年度主要事業箇所図(資本的支出)

- ①東酒々井地先舗装本復旧工事(17,581,300円)
A=3,129㎡
- ②取水井非常用発電設備設置工事(2,5,9,10号井)(100,100,000円)
可搬式ディーゼル発電機 80KVA 4台
- ③尾上浄水場次亜注入設備貯留槽更新工事(13,200,000円)
2㎡ 2槽
- ④尾上浄水場2系薬品室空調機設置工事(3,025,000円)



令和8年6月
(酒々井町上下水道課)

凡例
—— 地形図

2. 水道事業費用

⑤ 5号取水ポンプ分解整備工事

事業概要：

尾上にある5号取水ポンプの分解整備を行った。

事業費：7,370,000 円

水道事業費用－営業費用－原水及び浄水費－修繕料

⑥ 1号取水井既設機器撤去工事

事業概要：

旧下台浄水場にある機器の撤去を行った。

事業費：2,970,000 円

水道事業費用－営業費用－原水及び浄水費－修繕料

⑦ 尾上浄水場配水ポンプ盤点検整備工事

事業概要：

尾上浄水場に設置している1号・2号・8号配水ポンプ盤（2系）の点検及び部品交換を行った。

事業費：22,000,000 円

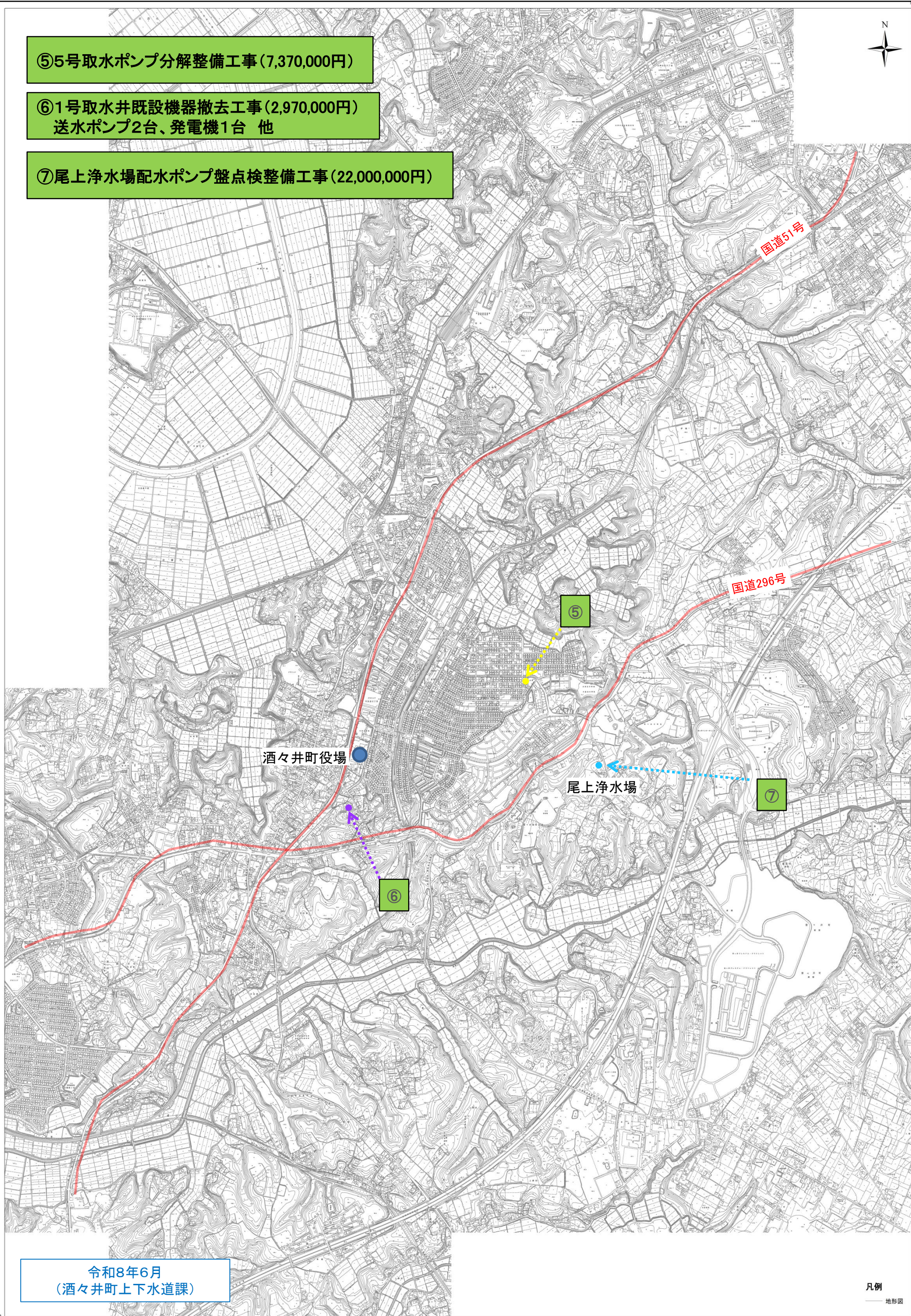
水道事業費用－営業費用－配水及び給水費－修繕料

令和7年度主要事業箇所図(水道事業費用)

⑤5号取水ポンプ分解整備工事(7,370,000円)

⑥1号取水井既設機器撤去工事(2,970,000円)
送水ポンプ2台、発電機1台 他

⑦尾上浄水場配水ポンプ盤点検整備工事(22,000,000円)



令和8年6月
(酒々井町上下水道課)

凡例
—— 地形図